

# 紀央館高等学校

実施日時 令和2年12月9日（水）、12月23日（水）

参加者 生徒502名、教職員50名、地域住民等0名 計552名

実施内容 避難経路の確認と避難訓練

## ねらい

- 1 県内全域を対象とする地震・津波訓練（「世界津波の日」令和2年11月5日）を通じて、地震・津波に対する防災意識の高揚をはかる。
- 2 学校周辺の様子を理解し、避難経路の一つを確認する。想定にとらわれないようにし、防災の意識をもつ。

## 主なプログラム

- 1 情報伝達訓練（シイクアウト）
- 2 避難経路の確認
- 3 避難訓練  
学校周辺から北方面へ（高い方へ）

## 概要

- 1 避難経路の確認をする。
  - ・校舎4階へ避難
  - ・周辺の地理を確認し、北方面への避難訓練
  - ・各クラスルームからの避難
- 2 経路の確認後「災害の記憶を未来に伝える」のパンフレットをもとに、以下の点を確認。  
津波避難の3原則

①想定にとらわれない。

「ハザードマップでは津波は来ない。」を信じてはいけない。

②最善をつくせ

「1秒でも早く」「1Mでも高く」を心がける。

③率先避難者たれ

まずは自分が逃げることで多くの人を救うことになる。家族と一緒におられるとは限らないので各家庭でも避難先や落ち合う場所を確認しておく。

## 参加者感想文

- ・本当に津波が来たらどこまで避難すれば充分なのか。
- ・津波がここまで来ることがないと思い込んでるので、実際の場面で行動にうつせるのか。
- ・今回はいったん4階へだったが、校外へいくとなると、どこまでいけるのか。
- ・時間はどのくらいかかるの
- ・学校はみんなの避難場所なので、地域の方がこられたら、一杯になるのではないか。自分たちはもっと高いところをめざしていかなければならないと思います。
- ・グラウンドを横着るコースが正しいが今回はグラウンド工事中なのでできなかったが、津波はいつ来るかはわからない。
- ・訓練はたくさんの場合を想定して行わなければならないが、どの場合にも当てはまらないときがある。
- ・想定にとらわれないということが大切だ。

## 成果と課題

【成果】学校の全員が参加したり、全員がきちんと、シイクアウト訓練をするということが大切で、本校は3学年ともに真剣に取り組むことができた。3年間で何回かの訓練で、「想定にとらわれない」ことを訓練できていると思う。

【課題】本校は「ハザードマップでは津波はおそらく来ない」場所なので、生徒たちは意識を持って避難訓練に取り組んでいかなければならない。来年度は避難所の運営などの、津波後の訓練も必要である。